



## 2. SenseThunderの基本構成

### SenseThunder (センスサンダー)



### SenseThunder-Mini (センスサンダーミニ)



「最先端のAI体温測定・顔認証技術」+「赤外線サーモグラフィカメラ」による

高精度かつ迅速な**体温測定**<sup>※1</sup>及び**顔認証**が可能なシステムです。

※1 本製品は、薬機法で定める体温計ではありません。あくまでスクリーニングが目的であり、体温とは体温近似値を指し、体温測定は体表温を測定し、AIにより体温近似値に換算するものです。

本製品は医薬品医療機器法が定める薬事承認を取得していないため、医療行為にはご利用いただけません



## 2. SenseThunderの基本構成

基本仕様

体温測定



非接触AI体温測定

マスク着用有無の判定

クラウド契約仕様

体温測定 + 顔認証システム



顔認証による個人特定

機能拡張(ドア連動や管理者通知)



### 3. 活用シーンと機能のご紹介

#### 基本仕様

## AI技術を用いた体温測定による感染症対策へ

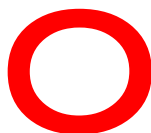




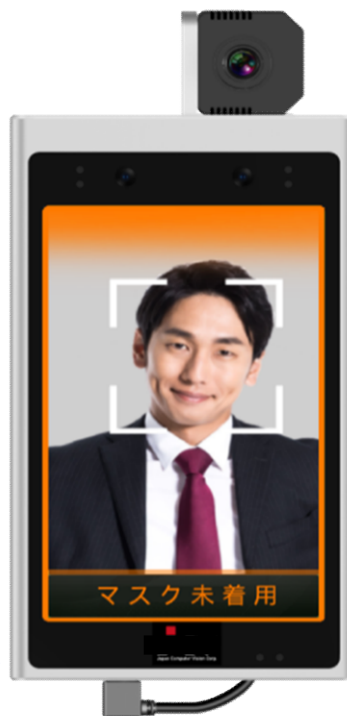
## 4. SenseThunderの特徴（体温測定）

分かりやすい画面表示でユーザーへ体温測定の結果をお知らせ

体温正常・マスク着用



マスク非着用



体温異常



設定値: 出荷時 任意設定可能

**NGの場合は、ブザーで警告**


※ブザーのON/OFFの設定が可能です。

※ 上記デバイスは「SenseThunder」の画像となります。  
「SenseThunder-Mini」も同様な画像表示がされます。



## 6. SenseThunder、SenseThunder-Miniの仕様

### SenseThunder



赤外線サーモグラフィカメラ

- ・解像度 : 超高度
- ・抽出温度点 : 約11万点
- ・温度誤差 :  $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$
- ・測定時間 : 0.5秒

顔認証端末


- ・登録可能数 : 5万人
- ・ディスプレイサイズ : 8インチ
- ・標準検知距離 : 0.5~1.5m
- ・画像外部出力 : HDMI対応

#### <用途>

1. **より高い精度**を求められるシーンでの利用  
(不特定多数の方が集まる会場/施設等での検温実施)
2. 検温結果を**ディスプレイ出力し、管理者確認が必要**  
(ロビーや受付で多数の方の検温実施)

Newリリース

### SenseThunder-Mini



赤外線サーモグラフィカメラ

- ・解像度 : 中程度
- ・抽出温度点 : 約1万点
- ・温度誤差 :  $\pm 0.4^{\circ}\text{C}$
- ・測定時間 : 0.5秒

顔認証端末

- ・登録可能数 : 2万人
- ・ディスプレイサイズ : 5.5インチ
- ・標準検知距離 : 0.5~1.2m
- ・画像外部出力 : なし

#### <用途>

1. **ゲート/ドアに設置し、省スペース**で検温と顔認証実施  
(従業員/作業員の検温を顔認証と合わせて実施)
2. **低コスト、省スペース**で複数台導入をご希望





## 6. SenseThunder、SenseThunder-Miniの仕様

### <主な相違点>

Newリリース



SenseThunder	製品名	SenseThunder-Mini
8インチ	画面サイズ	5.5インチ
0.5秒	測定時間	0.5秒
約11万点	抽出温度点	約1万点
±0.3°C	測定温度誤差	±0.4°C
1.5m	最長検温距離	1.2m
5万人	顔登録人数	2万人
HDMI対応	モニター出力	未対応

